

No14

【4】🔍 全体のテーマ

・この一節は、「働く動機」と「経営者の認識のズレ」に焦点を当てています。人は単に金銭的報酬のためだけでなく、仕事の達成感や満足感を求めて働くという心理に対し、経営側がしばしば十分な理解や評価を示していない現実を指摘しています。成果の認識・称賛の欠如が、現代のマネジメントの大きな欠陥であると論じられています。

🔍 全訳

・分別ある雇用主なら、従業員が「なぜ働くのか」として挙げる動機を分析するための時間を取るだろう——特に重要なのは、彼らとその動機を挙げる順序である。最近の調査によると、そうしたリストにおいて金銭は7位であった。最上位に挙げられたのは、「仕事をする事自体から得られる満足感」だった。何かを成し遂げたことによって得られる良い気分が、過酷な労働に対する最高の報酬であることは明らかである。しかし、労働者は同時に、自分がきちんと仕事をこなしていることを知らされる必要もある。そして、今日の経営層における最大の欠陥は、それを伝えることができていない点なのだ。

🔍 第1文

A prudent employer would take the time to analyze the incentives workers might list as their reasons for working – and most importantly, the order in which they list them.

🔍 和訳

分別ある雇用主なら、従業員が働く理由として挙げる動機を分析するための時間を取るだろう——特に重要なのは、それらを挙げる順序である。

■ 解説ポイント:

✔️ A prudent employer(名詞句)

→ 「分別ある雇用主」。prudent=用心深い、賢明な。ここでは、仮定法の条件になっている。この部分を書き換えると、If he or she were a prudent employer, they(he or she) would take …となる。

✔️ would take the time to V

→ 仮定法的ニュアンス:「Vする時間を取るだろう」

✔️ analyze the incentives

→ analyzeの目的語は「the incentives (that) workers might list...」

✔️ workers might list as their reasons for working

→ 関係代名詞節(関係代名詞目的格の省略):先行詞 incentives を修飾

→ list A as B:「AをBとして挙げる」

✓ the order in which they list them

→ 前置詞+関係代名詞の構文:先行詞 the order を in which…が修飾「その中で～する順序」

🔍 第2文

A recent study disclosed that money was number seven on such a list.

🔍 和訳

最近の調査によると、金銭はそのようなリストで第7位だった。

■ 解説ポイント:

✓ A recent study disclosed that SV…

→ disclose that SV…:「that SV…明らかにする、公表する」。that SV…名詞節 (disclose の目的語)

✓ on such a list

→ 「そのようなリストにおいて」

🔍 第3文

Topping it was satisfaction in performing the job.

🔍 和訳

そのトップに挙げられたのは、仕事を遂行することによる満足感だった。

■ 解説ポイント:

✓ Topping it was…

→ 倒置構文(強調目的)。通常語順:Satisfaction was topping it.

✓ satisfaction in performing the job

→ 「仕事を遂行することにおける満足感」

✓ in performing the job

→ 「～することにおいて」という動名詞+前置詞の表現

🔍 第4文

Obviously, that good feeling one gets from having accomplished something is still the best reward for hard labor.

🔍 和訳

何かをやり遂げたことで得られるあの良い気分は、過酷な労働に対する最高の報酬であることは明らかである。

■ 解説ポイント:

✔ that good feeling

→ that は「話し手・読み手にとって心当たりのある・共通認識のある具体的な感覚」を指す指示形容詞。

ここでは「仕事の達成によって生まれる、あの感じ」として感情的に強調している。

✔ one gets from having accomplished something

→ 関係詞節:feeling を修飾。

one 一般人称の one。訳出する必要は特にない。

get from~で「~から得られる」。元は、get that good feeling from ~で、that good feeling が先行詞となって、前に出た形。

having accomplished は完了動名詞で、「成し遂げた後の状態」で得られるという意味合いを持つ。

✔ is still the best reward for hard labor

→ 依然として「過酷な労働に対する最良の報酬」である。

🔍 第5文

But workers also need to know they are doing their job well, and the major deficiency within management today is the failure of telling them so.

🔍 和訳

しかし、労働者はまた、自分がきちんと仕事をこなしていると知らされる必要もある。そして、今日の経営層における最大の欠陥は、それを伝えられていないことにある。

■ 解説ポイント:

✔ they are doing their job well

→ 進行形が用いられているのは、「継続的・現時点のパフォーマンス」を評価対象としているから。単純現在形ではなく、「現在の働きぶり・姿勢」にフォーカスしている。

✔ telling them so

→ telling は名詞化された動詞(動名詞)。目的語 them(彼らに) + so(それを)を伴う。

✔ so の指示内容

→ 直前の内容 = 「they are doing their job well(彼らがうまく仕事をしている)」という事実を指している。つまり、「ちゃんとできている」という肯定的フィードバックの伝達が不在、という意味になる。